

議会だより

2018

よしか

第47号



# 桜満開、全員集合



六日市保育所の園児たち

・第1回定例会	…2頁	・議案の議決結果表	…9～10頁
・30年度当初予算	…3頁	・一般質問・主な議会動向	…11～14頁
・主な質疑	…4～7頁	・発委・発議・陳情	…15頁
・臨時会・全員協議会	…7～8頁	・視察報告・編集後記	…16頁

## 平成30年 第1回(3月)定例会

## ～新「六日市中学校」誕生へ～

蔵木中学校及び六日市中学校を統合する条例が全員賛成で可決されました。あわせて、統合に関する諸課題を協議する統合準備委員会の設置も可決され、これにより、平成31年4月1日より、新「六日市中学校」が誕生することになりました。

(関連記事は4ページ)

平成30年第1回定例会が3月5日から3月20日までの16日間開催されました。30年度当初予算をはじめとする議案39件、同意12件、発委1件、発議1件、陳情1件を審議し、初日の町長施政方針を受け、11名が一般質問に立ち、町政の課題について議論を展開しました。

## ◇予算 15件

\*平成29年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号) 外3件

\*平成29年度吉賀町一般会計補正予算(第7号) 外1件

\*平成30年度吉賀町水道事業会計予算

\*平成30年度吉賀町興学資金基金特別会計予算 外6件

\*平成30年度吉賀町一般会計予算

## ◇条例の制定・一部改正等 22件

\*平柄の滝森林公園条例の制定について 外2件

\*吉賀町認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例について

外16件

\*吉賀町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の全部を改正する条例について

\*吉賀町町民憲章町歌検討委員会条例を廃止する条例について

## ◇契約 1件

\*請負契約の変更について

## ◇その他 1件

\*吉賀町過疎地域自立促進計画の変更について

## ◇同意 12件

\*吉賀町農業委員会委員の任命について 外11件

## ◇発委・発議 2件

\*議会活性化特別委員会の設置について

\*国民健康保険制度における国庫負担割合の引き上げを求める意見書(案)

## ◇陳情 1件

\*町道亀原線、中亀原線道路改良工事についての陳情

定例会  
議案

## 【平成30年度当初予算】

一般会計	64億1,015万円	特別会計	23億7,033万円
29年度当初	68億2,695万円	29年度当初	24億8,847万円

水道事業会計	3億9,320万円	水道事業会計は、地方公営企業会計のため、収益的支出額と資本的支出額の合計を記載
29年度当初	3億8,023万円	

## 平成30年度当初予算の主な概要

## 【歳入】

(単位:千円)

目名等	予算額	備考
町税	565,226	町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税等
地方交付税	3,194,087	臨時財政対策債 (146,769)
国庫・県支出金	1,005,451	国庫支出金 (601,230)・県支出金 (404,221)
繰入金	623,988	基金繰入金
町債	616,900	過疎債 (439,500)・合併特例債 (72,000)

## 【歳出】

(単位:千円)

事業名等	予算額	備考
	1,024	総合戦略推進事業
	77,104	安心して働ける「しごと」をつくる
吉賀町版地方創生事業費	144,193	「結婚」「出産」「子育て」の希望をかなえる
	134,013	新しい「ひとの流れ」をつくる
	406,316	「協働と連携」により住みよいまちをつくる
吉賀高校支援対策事業費	29,256	特色ある学校づくりを進めるための支援等
空家再生事業費	18,602	空き家の改修、家財道具搬出に要する経費の助成
地域公共交通対策費	45,913	生活バス等への補助及び公共交通再編計画策定に向けた経費等
社会福祉総務費	87,511	吉賀町社会福祉協議会運営費の補助等
子ども・子育て支援事業費	307,773	法人保育所運営費負担金及び障がい児保育等への補助等
地域医療対策費	219,875	支援計画に基づく六日市病院への補助等
土地改良補助整備事業費	53,501	国・県の補助事業を活用して行う土地改良施設整備事業
公営住宅等整備事業費	138,832	沢田団地の設計及び建設工事費等
橋梁維持管理費	71,316	橋梁の計画的な維持管理と長寿命化の推進
保健体育施設整備事業費	77,780	スポーツ公園のトイレ整備及び保健体育施設の修繕工事等
長期債元金	606,556	町債償還元金

# 主 な 質 疑

蔵木中・六日市中統合準備委員会設置条例の制定について

【吉賀町立学校設置条例の一部を改正する条例について】

大多和議員

◆ 31年の4月1日から施行する条例を、なぜ1年以上前に変更しなければならないのか。

【教育長】

30年度、1年間かけて統合準備をするため。

中田議員

◆ 最終的に議会の承認と手続きがない時点でなぜ先に行うのか。

【町長】

準備委員会の設置条例が可決されて、1年間かけて準備をしたところ、最終的に中学校の設置条例が否決されたらどうなるか考えてほしい。

大庭議員

◆ 31年4月にできる新しい学校の名称が六日市中中学校となっている。検討委員会での経緯を聞く。

【教育次長】

多数議論は出たが、全会一致で決めたと認識している。お互いが尊重し合って、六日中学校に落ちついたと思う。

庭田議員

◆ 子どもたちの意見が必要だと思うが、どの様に取り入れていくつもりか、学力向上についても話し合っていくのか。

【教育長】

両校の子どもたちで、学校運営について話す機会を作ってもらい、意見が反映できるように審議のあり方を思っている。学力については、内容がそぐわないので外している。

平成30年度吉賀町水道事業会計予算

【減価償却費について】

三浦議員

◆ 減価償却費が1億4000万円計上と高額であるが、建物、構築物、機械等の償却期間を聞く。

【建設水道課長】

建物は10年から50年、構築物は40年から60年、機械及び装置等は6年から20年で対応している。

【設計金額について】

大多和議員

◆ 柿木、大野原地区の敷設替設計業務2カ所で5000万円強の計上であるが、高額すぎないか。

【建設水道課長】

柿木地区約1.4キロ、大野原地区約5.2キロの老朽管取替えて、業者等から見積りを取り、出てきた金額で人件費等が主であり、これぐらいの金額が必要と思われる。



蔵木中学校



六日市浄水場

【加入分担金について】

河村(隆)議員

◆ 再度加入される場合の分担金は幾らか。また、総配水量と有収水量の割合を聞く。

【建設水道課長】

再度加入しても、新たに4万6000円の加入分担金がかかる。

総配水量に対し有収水量は81%で、差異の19%は漏水等で、約2000万円のロスとなる。

【配管の敷設場所について】

藤升議員

◆ 敷設場所が大きく変わる可能性があるか。あるとすれば旧配管の取水・消火栓ボックスの処理についてもこの工事の中に含まれるか。

【建設水道課長】

なるべくメンテナンスのしやすい箇所に敷設替えを考えており、それに沿って仕切弁等も同時に移動する。

【漏水について】

大庭議員

◆ 漏水箇所を調査して、改善できたのは何パーセントか。

【建設水道課長】

数字は出していないが、1箇所修理しても、また1箇所修理箇所が出るという状況であり、なかなか100%にはならないのが現実である。

庭田議員

◆ 漏水は経営面から見て、通常のロスなのか、また、家庭内の漏水について、知らないうちに料金を納めているというようないことがないよう

【建設水道課長】

配水池まで上げた水は経費がかかっているため、今後ともロスが出ないよう努めていく。家庭内の漏水については、検針員が2カ月に1回検針しているが、何らかの広報的なものも必要と考える。



吉賀町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

反対討論

藤升議員

◆ 広域化になると、一般会計からの繰り入れができない仕組みとなり、国民健康保険税が引き上げになるため、反対である。

吉賀町介護保険条例の一部を改正する条例について

反対討論

藤升議員

◆ 介護保険料を15%引き上げる条例改正であり、収入の少ない人と多い人の負担割合の整合性も取れていないため、反対である。

平成30年度吉賀町一般会計予算

【環境保全型農業直接支払交付金について】

藤升議員

◆ 交付要件を見直すということ

であるが、\*GAPの取り組みが義務付けられている。30年度にこの取り組みについてどのような形になるのか。

\*GAPとは良好な農業生産の工程管理

【産業課長】

GAPの取り組みを強制されるようになると思うが、この記録がないと交付金が支給されないことはない。

【テレビ会議システムについて】

大多和議員

◆ 本庁舎と柿木庁舎を光ケーブルで結んだテレビ会議システムで、建設水道課への申請も本庁舎でできるよう総務常任委員会で提案したが、今回の予算に計上されていない。計画はないのか。

【町長】

具体的な議論になっていない。したがって、30年度の当初予算には計上していない。



立戸のスポーツ公園

【スポーツ公園のトイレ設置について】

河村(隆)議員

◆ かなりの金額だが、どのような設計でどのくらいの規模か。

【教育次長】

スポーツ公園の屋外トイレ等の建築工事費2714万6000円で既に設計は完了し、工事の発注を30年度で行う。

建築面積28・1㎡を予定、トイレの数は5、障がい者用トイレを設置する。

【鳥獣駆除の要請について】

大庭議員

◆ 鳥獣対策専門員を配置しているが、栗農家等は秋の収穫時になると熊が出て恐ろしくて作業が出来ない。

何か対策を講じられないか。

【産業課長】

鳥獣被害は、非常に大きな問題である。専門員は熊にGPSをつけて行動の調査を始めた。

すぐに熊がいなくなることはならないが、進展はあると思われる。

【健康増進施設ゆ・ら・らについて】

河村(由)議員

◆ 30年度をもって、5年契約の指定管理が終了する。先般現地調査をしたが、老朽化に伴うラックや雨漏りがある。

厳しい財政の中で将来的にどうあるべきか、検討する必要があると思うが。

【町長】

公共施設のあり方の問題だと思ふ。

90近い施設の指定管理の更新を30年度に行わなければならぬ。早い段階から選定に向けた手続きを着手させる。

大きな施設は議会でも見てもらったが、年度が始まったら早急に手続きをスタートさせる。

【空き家財等処分推進事業について】

松蔭議員

◆ 空き家財等処分推進事業補助金があるが、家財等を処分するのにルールのものがあるのか。

【企画課長】

空き家バンクに登録された、空き家所有者に家財等の処分に要する経費の一部を最大10万円を1回に限り交付する事業で、詳細は補助金交付要綱で定めている。

◆ 処分を業者委託するとき、危険物が混在していた場合の適正な処理は出来ているのか。

【企画課長】

不燃物処理場も処理出来ないものは受け取らないので問題はないが、適正な処理を持ち主に

指導していく。

【彫刻の道整備について】

三浦議員

◆ 彫刻の道の整備工事に4500万円計上しているが、この「彫刻の道」と「ゆ・ら・ら」はワンセットで、一体化していないと意味がなく、相乗効果もないと考えるが。

【企画課長】

指摘の通り、「彫刻の道」と「ゆ・ら・ら」の施設は、渡り廊下等も撤去して一体となっているので、両方とも活かすよう設計している。

【総合防災事業について】

桜下議員

◆ 総合防災事業費が32万計上しているが、いづれどの程度の規模で行うのか、予算的に金額が低いようだが。

【総務課長】

時期は秋を想定している。中身は通常訓練、災害の疑似体験等避難誘導訓練を取り込んだ形で行う予定。

予算的には、経費をかけない  
防災訓練等を行いたい。

【よしか塾について】

桑原 議員

◆ 教育費、よしか塾の事業費の報酬がいろいろあるがひとつの部署でまとめてやれば、経費が削減されるのではないか。

【総務課長】

小学校、中学校、高校のつながりのなかで、ひとまとまりとなつて事業を行うことで、事業費の節減効果が見込める事もあるかもしれないが、今の事業体系では難しいと考える。

【ケーブルテレビ事業について】

中田 議員

◆ 総務管理費のケーブルテレビ事業費で新規加入者助成金162万円を計上している。

29年度の助成戸数と30年度何件を見込んでいるのか、ケーブルテレビの設置は、町で取り付けるのか、個人が支払うのか。

【企画課長】

ケーブルテレビは鹿足郡事務

組合が設置し、津和野町との差異を埋めるため、新築家屋は10万8000円その他が7万7000円を助成している。  
29年度実績は9件、30年度は15件分を計上している。

【農業委員会委員の同意案件について】

庭田 議員

◆ 農業委員会委員候補者評価委員会の評価結果では「応募推薦された者12名について農業委員選任候補として適正であると判断した」とある。

選任された12名を議会上程されたが、1名同意されなかった。このことについての見解を聞く。

【町長】

評価委員会の審査を経て報告を受け、私が同意案件を提案したが同意されなかった。  
提案者として努力が足りなかったと反省している。

平成30年  
第1回臨時会

【平成30年1月24日】

【議案第1号】

動産購入契約の締結

《主な内容》

特別養護老人ホーム「とびのこ苑」の厨房機器の購入費701万6760円、契約の相手方は(有)ふれあいショップのみ

〈全員賛成〉

【議案第2号】

平成29年度一般会計補正予算

《主な内容》

「ゆ・ら・ら」の修繕費として306万9000円を補正

三浦 議員

◆ 利用者の減少に加え、老朽化により今後も多額の修繕費が予想される。将来的な計画はできているのか。

【町長】

はどの湯荘も併せて施設をど

うしていくのか、議会と一緒に協議していきたい。

〈全員賛成〉

平成30年  
第2回臨時会

【平成30年2月15日】

【議案第3号】

訴えの提起について

《主な内容》

相手方に対して町所有土地の移転登記手続き請求を求めるもの。

〈全員賛成〉

平成30年  
全員協議会

【第1回 2月1日】

《社会医療法人石州会の経営安定化に関する要望書について協議会開催》

(内容)

MRIなど老朽化した設備の更

新に多額の費用が必要である。  
財政が可能な範囲で支援を要望するもの。



六日市病院との話し合い

【第2回 2月15日】

《寒波による除雪・水道管の凍結等の対応状況》

(内容)

長く続いた積雪と低温により除雪費で約5000万円追加補正、水道の破損は今確認できているだけで600件を超えている。

《第4次六日市病院支援計画及び経営安定化に対する第3次緊急支援について》

(内容)

第4次支援計画では、不採算地区病院の特別交付税分1億1537万1000円に町の一般財源2884万3000円を加えたものを財政支援する。

第3次緊急支援は、設備更新に必要な5億3100万円の一部の1億5000万円を3年間で支援する。

《朝倉保育所の今後の方向性について》

(内容)

今後入所する児童がなければ、平成31年3月の卒園以降は園児は0となる。

藤升議員

◆ 説明会は地区民を対象にするべきではないのか。

【保健福祉課長】

ケーブルテレビ等で周知し、希望される方が参加できるようにする。



朝倉保育所

庭田議員

◆ 重要な案件であるので、全町に周知すべきである。

園児が確保できる可能性も残っているので、いきなり閉園ではなく休園等の措置も取っておくべきではないか。

【町長】

広く町民の皆さんの意見を聞いた上で、丁寧に判断をしていきたい。

【第3回 2月28日】

《「むいかいち温泉ゆ・ら・ら」の現地調査他、18件の議題が提出された。》

(主な議題)  
《平成29年度吉賀町中期財政計画》

(内容)

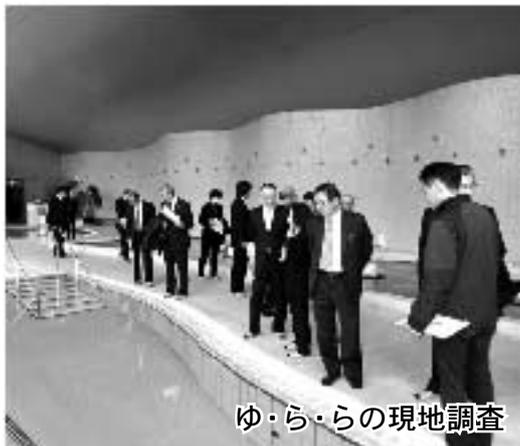
交付税が10年間で3億8000万円減少する。公債費の増加について、平成34年、37年では単年度で10億円を超える。平成38年度には財政調整基金と減債基金は枯渇する。

大多和議員

◆ 現状規模の施策を基本にした計画なのか。

【総務課主幹】

平成28年度の決算をベースにしている。今後は経常経費を大きく減少させないと財政はもたない。



ゆ・ら・らの現地調査

# 議案の議決結果

## 『議決結果表』

(議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない)

### 【全員賛成で可決した議案】

	議案番号	件名 (議案の内容)
臨時 第1 回 会	議案第1号	動産購入契約の締結(特養とびのこ苑厨房機器購入)
	議案第2号	平成29年度吉賀町一般会計補正予算(第6号)
臨時 第2 回 会	議案第3号	訴えの提起
第 1 回 定 例 会	議案第4号	平成29年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
	議案第5号	平成29年度吉賀町小水力発電事業特別会計補正予算(第3号)
	議案第6号	平成29年度吉賀町下水道事業特別会計補正予算(第4号)
	議案第7号	平成29年度吉賀町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
	議案第8号	平成29年度吉賀町一般会計補正予算(第7号)
	議案第9号	請負契約の変更(相生橋側道橋架設工事)
	議案第10号	平析の滝森林公園条例の制定
	議案第11号	蔵木中・六日市中統合準備委員会設置条例の制定
	議案第13号	吉賀町認可地縁団体印鑑条例の一部改正
	議案第14号	吉賀町表彰条例等の一部改正
	議案第15号	吉賀町非常勤特別職の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正
	議案第16号	吉賀町営住宅条例の一部改正
	議案第17号	吉賀町立学校設置条例の一部改正
	議案第18号	吉賀町蔵木グラウンドゴルフ場施設条例の一部改正
	議案第19号	大野原運動交流広場施設条例の一部改正
	議案第25号	吉賀町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援法に関する基準を定める条例の一部改正
	議案第26号	吉賀町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正
	議案第27号	吉賀町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部改正
	議案第28号	吉賀町地域福祉計画策定委員会条例の一部改正
	議案第29号	吉賀町放課後児童クラブ条例の一部改正
	議案第30号	吉賀町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正
	議案第31号	吉賀町町民憲章町歌検討委員会条例の廃止
	議案第32号	平成30年度吉賀町水道事業会計予算
	議案第33号	平成30年度吉賀町興学資金基金特別会計予算
議案第37号	平成30年度吉賀町小水力発電事業特別会計予算	
議案第38号	平成30年度吉賀町下水道事業特別会計予算	
議案第39号	平成30年度吉賀町農業集落排水事業特別会計予算	
議案第41号	吉賀町過疎地域自立促進計画の変更	
議案第42号	平成29年度吉賀町一般会計補正予算(第8号)	

	議案番号	件名 (議案の内容)
第1回 定例会	同意第1号	吉賀町農業委員会委員の任命 (六日市、尾崎勝典氏)
	同意第2号	吉賀町農業委員会委員の任命 (沢田、金川富士雄氏)
	同意第3号	吉賀町農業委員会委員の任命 (真田、茅原忠夫氏)
	同意第5号	吉賀町農業委員会委員の任命 (蓼野、齋藤浩二氏)
	同意第6号	吉賀町農業委員会委員の任命 (七日市、齋藤 学氏)
	同意第7号	吉賀町農業委員会委員の任命 (七日市、田淵文雄氏)
	同意第8号	吉賀町農業委員会委員の任命 (抜月、藤井和子氏)
	同意第9号	吉賀町農業委員会委員の任命 (立河内、正木潤一氏)
	同意第10号	吉賀町農業委員会委員の任命 (下須、村上幸子氏)
	同意第11号	吉賀町農業委員会委員の任命 (樋口、山吹寛氏)
	同意第12号	吉賀町農業委員会委員の任命 (朝倉、吉本茂生氏)
	発委第1号	議会活性化特別委員会の設置
	陳情第1号	町道亀原線、中亀原線道路改良工事についての陳情

【賛成多数で可決した議案】

○:賛成 ●:反対

	議案番号	件名	松蔭	三浦	桜下	桑原	中田	大多和	河村隆	大庭	河村由	庭田	藤升	
第1回 定例会	議案第12号	吉賀町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
	議案第20号	吉賀町後期高齢者医療に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
	議案第21号	吉賀町国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
	議案第22号	吉賀町国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
	議案第23号	吉賀町介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	
	議案第24号	吉賀町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の全部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	議案第34号	平成30年度吉賀町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	議案第35号	平成30年度吉賀町後期高齢者医療保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	議案第36号	平成30年度吉賀町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●
	議案第40号	平成30年度吉賀町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【賛成少数で否決した議案】

○:賛成 ●:反対

	議案番号	件名	松蔭	三浦	桜下	桑原	中田	大多和	河村隆	大庭	河村由	庭田	藤升
第1回 定例会	同意第4号	吉賀町農業委員会委員の任命	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●
	発議第1号	国民健康保険制度における国庫負担割合の引き上げを求める意見書 (案)	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○

介護保険料の大幅引上げ中止を求める



藤 升 正 夫

**質問** 昨年、日本共産党が行った生活アンケートの結果から、町内の多くの方、特に高齢者の方は介護保険料の負担を減らしてほしいと願っている。

第7期吉賀町高齢者いきいきまちづくり計画は、65歳以上の介護保険料の基準額を、年額でこれまで6万3600円であったものを、7万3200円とするもので、1カ月当たりでは、5300円から8000円の負担増となり、6100円とするものである。

単純に計算すると、65歳以上の方が総額で1億5300万円納めていた保険料を、2300万円多い1億7600万円に引き上げる

というものである。

介護保険には基金が約2500万円ある。

この基金を、第7期の3年間で毎年500万円ずつ使い、これに1800万円を一般会計から入れることで、2300万円となり引上げ相当分と同じになる。

基金を取り崩し、一般会計から1800万円を捻出することで、介護保険料の引き上げをしなくてもよい方向に舵を切るよう求める。

**町長** 一般会計からの繰り入れは、介護保険制度の理念に照らして適切ではない。

現行の法定負担率以上の繰り入れは実施しない考えである。

ふるさと納税で活性化を



中 田 元

**質問** 29年度の人口の転入超過を維持させ活性化する支援策が必要と考え、役場庁舎対岸の町有地に公園を整備し地域の人々が交流できる場とすることを再提案する。

財源は「ガバメントクラウドファンディング」等を活用し吉賀町のPRを兼ねた方法を導入することも考えられるが。

**町長** 公園等はある程度地域に分散して整備するのが得策、事業の財源として慎重に対処する必要があるので、担当課と協議をすすめたい。

**質問** 家族介護支援について支給要件を緩和

すること、より多くの在宅生活の継続を希望する要介護者と支援者の慰労ができることを考えるが。

**町長** 合併時に一般財源を活用して町の単独事業として継続してきた事業である。

慰労金受給者も少数で介護の社会化が図られたと評価している。

合併後12年経過し内容について改めて評価検討する必要がある。

※ガバメントクラウドファンディングとは、自治体が使途を事前に明確にして、賛同者から寄付を募るしくみ。

30年度の当初予算について



河 村 由 美 子

**質問** 一般会計予算総額64億1000万円の内、地方創生事業費7億6200万円は全体予算の11%を占めている。

この事業は実行次第では町の安定性や未来に繋がる予算化である。

町長の施政方針に基づき予算規模は適正であり、先行投資やアドバンテージと言えるものか。

**町長** 継続性を意識しながら積極果敢に行政執行に邁進するため財政基盤の安定が必須条件であり、普通交付税の合併優遇措置も32年度には終了し、33年度から本来の一本算定に戻る。これからの数年が正念場になる。

今まで以上に財政健全化に向けた取り組みを進めなければ目指すべき処のまちづくりの基本姿勢の実現はあり得ないと考える。

質問の先行投資とアドバンテージについては投資的経費としてある意味、即刻その効果を生み出す事も期待される。

事業が有効に作用して持続可能かといえは全てが当てはまるわけではない。

例えば関係者が集うプラットフォーム的な組織化による横断的施策の展開など、ゼロベース予算による取り組みも多く成果があげられると思う。

## 子育て支援基金について



河村 隆行

**質問** 柿木地区町政座談会において、子育て支援策は将来的に継続可能かどうかという質問が出ていた。

待機児童問題をはじめ、給食費、医療費など一連の子育て支援策は、小水力発電事業の売電料で対応ができるかと答弁されていた。子育て関連の特定目的基金を創設し、売電料を基金に積み増し、子育ての支援が目に見える形にして力強いメッセージとなつて発信されると、若い人たちが安心して子育てができる町になるのではないかと考える。

そのために基金など財政の安定が求められている。



**町長** これまでのところは過疎債ソフトという財源を使っている。これは期限が限られているので、次のステップは小水力発電収入を充てる。

売電料60000万円の内1400万円を基金に積み立て、将来の少子化対策に充てるということである。

## 全国植樹祭に向けて町の対応は



桜下 善博

**質問** 平成32年、島根県大田市三瓶山で開催される全国植樹祭で、来年即位される天皇陛下が、お手植えされる樹木に、町木である「コウヤマキ」が選ばれた。

六日市に自生しているというのが理由の一つで天皇陛下が直接お手植えされる「杉」と共に選ばれた。このことは町の名誉であり、光栄である。町民あげて喜び、全国に向けて吉賀町を発信できる千載一遇のチャンスと思う。「コウヤマキ」について、全国から品種や購入、育て方、自生地等の問合せが予想されるが町の対応は。

**町長** 県より、担当課の職員が数回来町され、



自生地の調査や全国植樹祭の関係職員が挨拶に来られた。今後、正式な報告があると期待している。

それまでは、現状を見て対応し、本町で育てられた「コウヤマキ」の苗が選ばれるよう、積極的に働きかけていく。

吉賀町の情報発信をするいい機会なので、県と調整をしながら、自生地の保全活動等も含めて対応していく。

## 住宅用地の土地利用と地域環境の融和



三浦 浩明

**質問** 近年、数々の住宅建設が行われ人口増が期待できるが、一方、町内外の方が新築を計画しても土地がないと声がある。

本町独自の分譲地や農地転用等、遊休地の有効利用の取組みが必要ではないか。

**町長** 住宅用地へのニーズがあることは承知をしているが、具体的な要望調査はしていない。

全国的には町有地等の分譲化の事例もあり、遊休地の有効利用を図り定住対策に繋げていくには必要な手法、手段と考える。

**質問** 企業の人材不足による外国人の受入れ

人口が徐々に増加し、外国人にとつては生活環境の違いから交通ルール等、マナーも各企業で教育はされているとは思いますが、より一層の環境と活性化を目指すため、町民との触れ合いの場を企画するなどお互いの融和を図るべきではないか。

**町長** 労働者不足は全国的な傾向で、本町の経済活動の一翼を担っていたらいているのは事実である。

地域活性化、働く場の確保のためにも、より一層、町を挙げて受け入れ体制を構築していく事が、重要な案件になる。

### 蔵中、六中の統合について



大庭 澄人

**質問** 統合による要望、環境整備等新たな課題

に対して、教育委員会はどう受け止め、1年という期間内にどの様に進めていくのか。

**施設利用については**地域の要望や意見を十分尊重、反映されるよう期待する。

**教育長** 蔵木地域の方に新しい中学校に対する大きな期待が見えるので裏切らないよう、誠心誠意取り組む決意を持っている。今後は、検討課題である。

の子供たちの未来の可能性を全力で応援出来るようバックアップ体制を作っていく必要がある。  
施設利用については地域の要望を尊重することは当然のことと考



える。  
下水道整備について

**質問** 下水事業は完了しており、未整備地区については合併浄化槽

で対応していくのとどこであるが、排水処理が困難な地域では排水路の設置をすべきだと思いが。

**町長** 排水の技術的な部分については建設水道課で指導、助言はできる。排水路については、検討課題である。

### ブランド化の前に町の理念発信を



庭田 英明

**質問** 米など農産品のブランド化がすすめられていくが、先ずは知名度の高くない町のコンセプトの発信をすべきである。

**町長** 食、自然、歴史文化に加え、子育てや雇用、住環境などをまとめて発信していく。

**質問** 定住対策、子育て支援等のためにも関心の高い有機農業や、食の安全安心をブランドイングの柱にする考えはないか。

**町長** 食の安全については、認証取得を視野に入れてしっかり検討していく。

町有財産の処分を

**質問** 利用率の減少、老朽化による修繕費・維持費・管理費などは年々増加している。

**町長** 売却や無償貸与などで財政負担を軽減すると同時に民間の力を活用すべきである。

**町長** スピード感をもつて対応していく。

自治活動の支援拡大を  
**質問** 交付金の見直しなど、住民の自主的な活動を支援する、新しい仕組みが必要と考える。

**町長** 支援していく考えに変わりはない。

### 「彫刻の道公園」の整備について



大多和 安一

**質問** 彫刻の道公園が整備中だが、場所や展示物等に関して理解されていない。

国道側へも看板が必要ではないか。

展示作品に対し、作者名や作品への想い、材料の種類等を記載された銘板が必要。パンフレットも作成して、道の駅や「ゆ・ら・ら」

で配布し、子供から老人まで、町民なら誰でも説明できるような宣伝が必要だ。  
芸術への関心を高める情操教育としても、

宇部市の「常磐公園」のような広い場所での展示と、吉賀町の狭い場所では比較にはならない。町民が誇れるように整備されたい。

**町長** 看板については、デザインを澄川喜一先生と調整するため、しばらく時間を頂きたい。

彫刻の足元には、作品名・作者・制作年・作品の受賞歴を記した銘板を設置している。

説明に関しては、公園の環境として、説明板か紙ベースのパンフレットか模索している。

現状のスペースでは、あと1つか2つ位しか置けない。

その後は、町内で周遊できるような作品配置とし、住民に愛されて活用して頂く施設として整備したい。



子育て支援策と定住対策は



桑原三平

**質問** 子育て世代の方が定住するためには安定した収入が得られる雇用、就労の場を確保することが必要だ。一方、働き手がいない、人手が足りない、後継者がいない事業所、企業等がある。

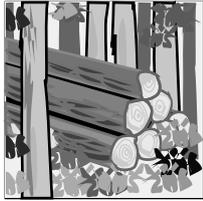
**町長** 各企業の方から人材の確保について、非常に苦慮していると聞いている。

その一つに住宅問題があり、対策として、民間賃貸住宅建設補助金を制度化し、入居制限のない民間活力による住宅確保に努めている。

効果の検証については、短期間では難しいが20年、30年後に効果は表れてくると思うので子育て支援と移住、定住支援を強力に展開したい。

**質問** 林地台帳整備事業、31年度からの森林環境税及び森林環境贈与税に現体制で対応ができるのか。

**町長** 制度設計の段階では現体制で対応する。状況次第で柔軟な対応を考えている。



産業振興を問う



松蔭茂

**質問** 町長の所信表明に、地域資源、木、水、山、川と人的資源、当地に居る技術者、あるいは頭脳、知恵、知識を持った人が随分おられ、これらを活用して産業振興を推進する

とある。30年度の施政方針に色々なメニューがあるが、縦横に連携した組織、商品開発、宣伝、販売、官民あげての組織が必要である。

**町長** 商品開発に地域研究センターを作ってはどうか、遊休地での試験栽培をするとか試作品を作る等、島大、山大、広大等の大学、研究機関と連携して産業振興につなげてはどうか。

地域資源を最大

限活用した産業振興を推進し付加価値をつけたいブランド化を行っていく。他の地域のものとの差別化、区別化を図って競争力をつけていく。地域の商品掘り起こして町内特産品を売り込むために官民が連携して地域商社的な組織作りをしていくことが大事なことを考えている。

30年度からブランド化事業で検討を始める地域商社は、特産品の販路開拓、商品開発や流通を一手に担う組織であり、その中で創出したものは、町民共有の財産であるので、そのように対処しなければならぬと考えている。

地域資源を最大

最近の主な議会動向

月 日	用 務	出席者	月 日	用 務	出席者
1月5日	広報広聴常任委員会	広報広聴委員・議長	2月17日	石見西部地区郵便局長会通常総会（津和野町）	議長
1月7日	吉賀町消防出初式	議員	2月21日	島根県町村議会議長会定期総会及び自治功労者表彰式（松江市）	議長 桑原議員
1月11日	広報広聴常任委員会	広報広聴委員・議長			
1月15日	広報広聴常任委員会	広報広聴委員	2月23日	益田地区広域市町村圏事務組合議会定例会（益田市）	組合議員
1月19日	議会運営委員会	議会運営委員・議長	2月26日	鹿足郡一部事務組合議会定例会（津和野町・吉賀町）	組合議員
1月24日	第1回臨時会	議員	2月28日	第3回全員協議会	議員
1月24日	広報広聴常任委員会	広報広聴委員・議長	3月1日	吉賀高等学校卒業式	議員
1月28日	公明党島根県本部新年賀詞交歓会（浜田市）	議長	3月1日	議会運営委員会	議会運営委員・議長
1月29日	地域振興に関する講演会	議員	3月3日	吉賀町サッカー連盟リスペクト報告会	議員
1月29日	徳島市議会視察受け入れ	議長	3月6日	六日市学園卒業式	議員
2月1日	第1回全員協議会	議員	3月10日	中学校卒業式	議員
2月2日	総務常任委員会視察	総務委員・議長	3月16日	小学校卒業式	議員
2月15日	第2回臨時会	議員	3月30日	吉賀町交通安全対策協議会	議長
2月15日	第2回全員協議会	議員	3月30日	鹿足郡事務組合臨時会	組合議員

発委・発議・陳情

発委

▼【発委第1号】

・議会活性化特別委員会の設置について  
○提出者 議会運営委員会

委員長 大多和 安一

【理由】

平成30年1月5日付けで議長より「多様な人材（若年層、女性）を確保するための環境整備」などの諮問があり、吉賀町議会の活性化に関する調査研究のために、次のとおり「議会活性化特別委員会」を設置することになりました。

(名 称) 議会活性化特別委員会  
(目 的) 議会活性化に関する調査研究

(委員構成) 議長を除く11人

(設置期間) 平成30年3月20日から

平成31年9月30日まで



議会活性化特別委員会委員名簿

役職及び所属		氏名
委員長		松蔭 茂
副委員長		桜下 善博
第一部会 部会長		桜下 善博
第一部会 副部会長		藤升 正夫
第一部会		三浦 浩明
		桑原 三平
第二部会 部会長		河村由美子
第二部会 副部会長		庭田 英明
		中田 元
		大多和安一
第二部会		河村 隆行
		大庭 澄人

発議

▼【発議第1号】

・国民健康保険制度における国庫負担割合の引き上げを求める意見書(案)

○提出者 藤升 正夫

【理由】

国民健康保険税の負担軽減をはかるため  
総務常任委員会付託審査

審査結果 修正可決(賛成多数)

本会議採決 原案否決(賛成少数)

陳情

▼【陳情第1号】

・町道亀原線、中亀原線道路改良工事についての陳情

○陳情者 亀原地区自治委員

滝口 素行

【理由】

狭小の道路のため、車両の通行、離合、緊急時等に支障をきたしているため  
経済常任委員会付託審査

審査結果 可決(全員賛成)

本会議採決 可決(全員賛成)



町道亀原線・中亀原線現地調査

総務常任委員会視察報告

〔日時〕

平成30年2月2日（金）

〔視察先〕

広島県呉市…… サービス付き高齢者向け住宅「大和の故郷」

広島県広島市…… 株式会社ナリコマエ

ンタープライズ

〔参加者〕

総務常任委員、議長

〔調査事項〕

特別養護老人ホーム「とびのこ苑」と「みるく苑」に導入予定の※再加熱カート方式の給食システムについて

〔所感〕

※再加熱カート方式の給食システムを導入することにより、人件費、労働時間、光熱費などのランニングコストの抑制、厨房室のコンパクト化など、食の安心・安全を確認することができた

【※再加熱カート方式の給食システムとは  
…工場において加熱調理後チルド状態で保存された食品を、施設内で食器・トレイに盛付け再加熱カートにセットし、食事時間に合わせ適温に加熱し提供する方式】



「大和の故郷」での盛付け



提供される食事

編集後記

山々の木は芽吹き、野原の草花も咲きはじめる。暖かな春到来で人々の気持ちも明るくなります。

3月定例会が3月5日から20日まで開催され、町の30年度の事業を審議し決める大切な議会でした。

様々な事業計画に対しての予算審議が活発に行われました。

全国の地方どこもが問題としている人口減少問題、その問題解決に産業振興が大きな役割を示しています。

今定例会において、議会活性化特別委員会を設置し、町民の皆さんが身近に感じられる議会を目指し、若年層や女性の方も議員に立候補できるような環境整備を検討していきます。

町民のために、議会、行政一丸となつて、今後に悔いを残さないようにしていきたいものです。

【松陰 茂】

